

西脇市立西脇病院
改革プランの推進状況
(平成25年度実績)

平成26年10月6日

目次

I 平成25年度の収支状況

1 概況	P3
2 収支状況	P4
3 経営指標	P5

II 改革プランの目標進捗状況

1 基本事項	P6
2 医療の質の向上	P7 ~
3 経営資源の強化	P11 ~
4 職員の確保と意欲向上	P20 ~
5 再編・ネットワーク化	P23 ~

I 平成25年度の収支状況

1 概況

1日当たり入院患者数は287.4人(前年度274.1人)、外来患者数は600.6人(同550.6人)となり、それぞれ前年度より増加した。
病床稼働率についても89.8%(同85.7%)と増加した。

当年度純利益は、2億7,500万円となり、前年度(1億1,200万円)に引き続き黒字決算となった。

2 収 支 状 況

(単位:百万円)

区 分		H24年度 決算	H25年度 決算	対前年		
				増減	比率(%)	
収 益	総 収 益	7,458	8,022	564	107.6	
	医 業 収 益	6,773	7,476	703	110.4	
	うち	入 院 収 益	4,674	5,213	539	111.5
		外 来 収 益	1,603	1,784	181	111.3
		そ の 他	496	479	△17	96.6
	そ の 他 の 収 益		685	546	△139	79.7
費 用	総 費 用	7,346	7,747	401	105.5	
	医 業 費 用	6,953	7,366	413	105.9	
	うち	職 員 給 与 費	3,981	4,112	131	103.3
		材 料 費	1,289	1,583	294	122.8
		経 費	1,174	1,207	33	102.8
		減 価 償 却 費	474	425	△49	89.7
		そ の 他	35	39	4	111.4
そ の 他 の 費 用		393	381	△12	96.9	
差 引	経 常 損 益	118	278	160	—	
	純 損 益	112	275	163	—	

3 経営指標

区 分		単位	H24年度 決算	H25年度 目標	H25年度 決算	対前年		評価	
						増減	比率(%)		
業 務 量	患 者 数	1日当たり 入院患者数 (病床稼働率)	人	274.1	288	287.4	13.3	104.9	B
			%	85.7	90.0	89.8	4.2P	—	
		平均在院日数	日	15.2	—	14.6	△0.6	96.1	A
		1日当たり 外来患者数	人	550.6	590	600.6	50.0	109.1	A
	診 療 単 価	入 院	円	46,716	48,619	49,691	2,975	106.4	A
		外 来	円	11,881	12,767	12,172	291	102.4	B
		入院・外来収益	億円	62.8	77.5	70.0	7.2	111.5	B
財 務 指 標	経 常 収 支 比 率	%	101.6	102.0	103.6	2.0P	—	A	
	職 員 給 与 費 比 率	%	58.8	56.9	55.0	△3.8P	—	A	
	材 料 費 比 率	%	19.0	21.0	21.2	2.2P	—	C	
	経 費 比 率	%	17.3	16.8	16.1	△1.2P	—	A	

Ⅱ 改革プラン目標進捗状況

1 基本事項

(1) 今後果たすべき役割		
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ▪ MRI棟の増築完了、3.0テスラMRIの運用開始 ▪ 地域医療支援病院の承認要件を維持 ▪ 認定看護師資格の取得(がん性疼痛看護認定看護師1名) ▪ 神戸大人材育成拠点形成プログラムの受講(災害・救急医療育成コース等3名) 	自己評価
		A
(2) 一般会計繰出金		
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 総務省繰出基準の負担 【25年度 総額 984百万円】 [収益的収支785百万円 資本的収支199百万円] 	自己評価
		A
(3) 病院と地域の連携		
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 第5回西脇病院フェスタの開催 (小児医療を守る会、商業連合会、医師会、市民との共同実施) ▪ 市民フォーラム、地域医療検討会への参加 ▪ 「西脇市の地域医療を守る条例」に対応した普及啓発の強化 	自己評価
		A

2 医療の質の向上

(1) がん治療の医療体制の構築

主な取組目標	<ul style="list-style-type: none"> a. 人間ドックのオプション検査として、子宮がん、肺がん、乳がん検診の受診を促進 b. 認定看護師資格の取得（がん性疼痛看護認定看護師）ほか、がん関連認定看護師に向けた育成と支援 c. がん関連看護の長期経験者（5年以上）の増員 d. がん化学療法エキスパートコース、がん低侵襲性治療の受講 e. 乳腺外科医師、マンモ担当技師との連携 f. 緩和ケアの化学療法・嚥下に関する食種の確立への準備 	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> a. 市広報紙に乳がん検診の受診勧奨記事を掲載するとともに、人間ドック、健診受診のPRを行い、各がん検診の受診者も増加した。 b. がん性疼痛看護認定看護師を1名が取得するとともに、緩和ケア認定看護師教育課程にも1名修了した。 c. がん看護専門分野の研修等への参加支援を行った。 d. がん化学療法認定看護師教育課程を受講中である。がん低侵襲性治療コースを終了した。 e. 診察介助等はクラークが、運用等の調整は外来看護師が行うなど役割分担を進めた。 f. 関係部署が緩和ケアや嚥下の食種の確立に向けて、関係部署が協議することとなった。 	自己評価
				B

主な実績	項目		H23年度実績	H24年度実績	H25年度目標	H25年度実績	推進状況
	新入院がん患者	(人)	1,049	1,034	1,200	1,360	A
	放射線治療	(人)	2,429	2,074	2,074	2,495	B
	外来化学療法	(人)	950	1,091	1,180	1,228	A
	3がん <small>(子宮、肺、乳)</small> 合計検診	(人)	755	778	830	781	B
	高度機器 <small>(CT,MRI,RI,マンモ)</small> 撮影件数	(件)	22,664	23,204	24,230	24,565	A

[評価方法 A:実績>目標 B:目標>実績>前年 C:目標・前年>実績]

2 医療の質の向上

(2) 脳卒中治療の病病、病診連携体制の構築

主な取組目標	a. MRI棟の完成と3.0テスラMRIの運用 b. 脳卒中リハビリテーション認定看護師及び摂食嚥下障害看護認定看護師の育成と有効活用 c. 地域医療連携システム「北はりま絆ネット」の運用拡大 d. 地域連携クリニカルパスによる病診連携の強化		取組状況	a. 3.0テスラのMRIを平成25年11月から運用を開始した。 b. SCUセンター機能を稼働させた時点から脳卒中リハビリテーション認定看護師を配置し、充実した脳卒中看護を提供するとともに、摂食・嚥下障害看護認定看護師を該当分野の病棟に配置し、NSTメンバーとしての活動を行っている。 c. 情報公開病院も6病院に拡大され、連携先病院、診療所に情報提供を行っている。 d. 北播磨エリア脳卒中地域連携研究会で、圏域外の神戸市、加古川市内の連携先病院の追加し連携先病院の拡大を図った。				自己評価
	B							
主な実績	項 目		H23年度実績	H24年度実績	H25年度目標	H25年度実績	推進状況	
	パスによる紹介件数	(件)	162	170	210	180	B	
	脳卒中(脳外科)入院件数	(件)	703	663	—	521	C	

2 医療の質の向上

(3) 幅広い糖尿病治療により選ばれる病院の構築

主な 取組 目標	<ul style="list-style-type: none"> a. 外来透析患者数の増加 b. 重症合併症を持った患者への積極的かつ柔軟な対応 c. 外来における腹膜透析患者の増加 d. CHDF、血漿交換など重症患者への積極的な血液浄化の実施 e. 血液内科の自家移植に必要とされる血液の成分分離の実施 f. 糖尿病認定看護師の資格取得の育成と支援 g. 糖尿病教室の実施 h. 加算につながる栄養指導の実施 i. 栄養サポートチームによる早期介入の増加 	取組 状況	<ul style="list-style-type: none"> a. 血液透析業務は全般的に昨年度と比べ患者数が大幅に増加した。 b. 入院患者における腹水濾過濃縮業務が大幅に増加した。 c. 腹膜透析患者数は横這いであった。 d. 重症病棟におけるCHDF業務及びエンドトキシン吸着業務がやや増加した。 e. 抹消血幹細胞採取業務は月1回の割合であった。 f. 糖尿病認定看護師教育課程に派遣した。 g. 毎月（1月・8月を除く）、参加型糖尿病教室を開催した。また、糖尿病教育入院も継続している。 h. 入院患者は、医師・看護師へ指導依頼の提案を行い、外来患者は栄養士側から継続指導の依頼・提案を行うなどを実施した。 i. 病棟カンファレンスにより、早期に栄養状態不良の患者を抽出することができた。 	自己 評価
	B			

主な 実績	項 目		H23年度 実績	H24年度 実績	H25年度 目標	H25年度 実績	推進 状況
	入 院 透 析	(件)	1,405	1,217	1,500	1468	B
	外 来 透 析	(件)	5,500	5,325	5,600	5,797	A
	栄 養 指 導 合 計	(件)	1,034	697	800	1,515	A
	N S T 介 入 件 数	(件)	324	778	800	906	A

2 医療の質の向上

(4) 資格取得などによる医療提供力の強化

主な取組目標	<ul style="list-style-type: none"> a. 認定看護管理者教育課程(ファーストレベル3名)受講 b. 認定看護管理者認定審査(サードレベル受講修了者1名)受験 c. 日本看護協会認定看護師(がん疼痛緩和)など資格、認定等の取得 d. 神戸大学の医師・コメディカル統合的人材育成拠点形成プログラム(高齢者看護育成、災害・救急エキスパート育成)などの各コース受講 e. その他専門分野の資格取得への育成と支援 	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> a. 認定看護管理者教育課程(ファーストレベル2名)の受講終了した。 b. 認定看護管理者認定を取得した。 c. がん性疼痛看護認定看護師を取得した。 d. 高齢者看護育成コース、災害・救急医療育成コース及びがん低侵襲性治療コースに各1名(合計3名)が終了した。 e. 緩和ケア認定看護師教育課程に派遣した。 	自己評価			
	C						
主な実績	項 目		H23年度 実績	H24年度 実績	H25年度 目標	H25年度 実績	推進 状況
	資格・認定取得者数	(人)	8	11	8	7	C

3 経営資源の強化

(1) 入院収益の確保

主な取組目標	<ul style="list-style-type: none"> a. 7対1入院基本料の維持 b. 急性期看護補助体制加算(50対1) c. ハイケアユニット入院医療管理料の取得 d. 亜急性期病床の有効な運用 e. DPCの適正コーディング 	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> a. 看護局全体の応援体制で必要時間数の確保に努めた。 b. 増員に努めているが、離職も多かった。現在入院棟配置の看護補助者15名である。 c. 7対1看護基準の維持を最優先課題としながら、ハイケアユニット入院管理料の算定を視野に入れた検討を行った。 d. 平成25年3月に一部変更を行い亜急性期病床の効率的運用に努めた。 e. 委託業者による研修会を実施し、より効率的な病床運用、診療報酬アップに向けて取り組んだ。 	自己評価
	A			

主な実績	項 目		H23年度実績	H24年度実績	H25年度目標	H25年度実績	推進状況
	1日平均入院患者数	(人)	276.8	274.1	288	287.4	B
	病床稼働率	(%)	86.5	85.7	90.0	89.8	
	1人1日入院診療単価	(円)	44,178	46,716	48,619	49,691	A
	入院収益(1月当り)	(億円)	3.73	3.89	4.26	4.34	A

3 経営資源の強化

(2) 外来収益の確保

主な取組目標	<ul style="list-style-type: none"> a. 専門外来などの特殊な外来の実施 b. 救急患者の積極的な受入れ c. 造影看護師の1人体制の検討 d. 外来看護体制の検討 	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> a. 内科（糖尿、腎臓、消化器、呼吸器）の専門外来、緩和ケア外来、乳腺外来、禁煙外来の継続実施に加え、新たに血液内科、糖尿病合併症外来を開設した。 b. 適正なトリアージを実施するとともに、地域連携を充実させ積極的に救急患者の受入れに努めた。 c. 放射線技師との連携により造影看護師1名体制を導入し、CT及びMRI等のスムーズな検査進行を図った。 d. 医師事務作業補助者やクラーク等との連携・協力で、在宅療養指導や糖尿病患者の血液浄化への移行予防等看護師の本来の業務を専念した。 	自己評価
	B			

主な実績	項目		H23年度実績	H24年度実績	H25年度目標	H25年度実績	推進状況
	1日平均外来患者数	(人)	561.6	550.6	590	600.6	A
	1人1日外来診療単価	(円)	11,569	11,881	12,767	12,172	B
	外来収益(1月当り)	(億円)	1.32	1.34	1.53	1.49	B

3 経営資源の強化

(3) その他収益の確保

主な取組目標	a. 人間ドックの充実 b. 母乳外来や分娩施設の事前見学の実施等による分娩件数の増加 c. 妊婦健診、新生児健診の増加	取組状況	a. 人間ドック全体の受診枠拡大による受診者数の増加とオプション検査の充実による受診者数の増加を図った。 b. 分娩施設の事前見学は予想より少なかったが、母乳外来など産前産後のサービスの充実などにより分娩件数の増加を図った。 c. 分娩件数の増加に伴い、妊婦健診、新生児健診とも増加した。	自己評価
	B			

主な実績	項 目		H23年度実績	H24年度実績	H25年度目標	H25年度実績	推進状況
	成人病検診	(人)	482	478	510	517	A
	一泊人間ドック	(人)	148	149	160	123	C
	日帰り人間ドック	(人)	252	282	340	392	A
	乳児・新生児健診	(人)	385	390	410	438	A
	妊婦健診	(人)	2,517	2,757	3,200	2,890	B

3 経営資源の強化

(4) 医療技術部門の取組 (ア 薬剤業務)

主な取組目標	<ul style="list-style-type: none"> a. 病棟薬剤業務の取組み(病棟薬剤業務実施加算の維持等) b. 医薬品情報等の情報提供への取組み c. 抗がん剤調製の100%実施の維持(休日対応含む) d. 持参薬剤の使用促進や必要に応じた再調剤の実施 e. 後発医薬品の採用促進 f. 薬・薬連携の促進(地域薬剤師会との連携協議会の設置) 	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> a. 病棟薬剤業務については、20時間/週を維持し、包括部分の増加に伴い前年度比 1. 24倍の増収となりまた病棟一般注射混合業務と配薬セット業務も継続中である。 b. 院内LAN等を利用し、情報提供を行っている。 c. 抗がん剤調製業務量が対前年度比1. 4倍となったが、休日も100%の実施中している。 d. 持参薬利用のため、再調剤が増加した。 e. 26年度診療報酬改定に対応するため、数量ベースで増加できるものを臨時の薬事委員会で後発医薬品への切り替えを検討した。 f. 災害時において、西脇多可薬剤師会との連携協定の締結に向け協議している。 	自己評価
				B

主な実績	項目		H23年度実績	H24年度実績	H25年度目標	H25年度実績	推進状況
	救急等指導件数	(件)	212	110	廃止	廃止	—
	ハイリスク指導件数	(件)	5,699	5,426	6,000	5,633	B
	その他指導件数	(件)	8,133	7,719	8,800	7,740	B

※平成24年度以降病棟薬剤業務の施設基準を取得したことにより、増収となった

3 経営資源の強化

(4) 医療技術部門の取組（イ 検査業務）

主な取組目標	<ul style="list-style-type: none"> a. 検査結果の速やかな報告 b. 血液内科常勤化に伴う検査項目の拡大 c. 循環器内科医師増員に伴う検査拡大 d. 用手法項目（絨毛性ゴナドトロピン、リュウマチ因子など）の自動分析機への取込みや効率の悪い検査項目の委託化 e. 検査技師の育成 	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> a. 検体到着後 40～60分の報告及び生理検査では当日のエコー検査に対応した。 b. 末梢血幹細胞移植関連検査及び骨髓液検査の増加に対応した。 c. 心臓カテーテル検査や心電図、心臓エコー検査の増加に対応した。 d. メトレキサート血中濃度検査、HBc抗体検査を院内検査に採用した。 e. 体表臓器領域のエコー認定資格を取得した。 	自己評価
				A

主な実績	項目		H23年度実績	H24年度実績	H25年度目標	H25年度実績	推進状況
	超音波検査件数	(件)	4,580	6,894	7,200	8,064	A
	肺機能検査件数	(件)	1,093	1,084	1,150	1,624	A
	重心動揺検査件数	(件)	486	449	470	430	C
	脳波検査件数	(件)	461	418	430	422	B
	ABI検査件数	(件)	255	717	740	1,411	A
	心電図検査件数	(件)	7,633	7,518	7,700	8,709	A

3 経営資源の強化

(4) 医療技術部門の取組（ウ 放射線業務）

主な取組目標	<ul style="list-style-type: none"> a. 循環器内科の検査に対応できる技師の増 b. IMRT（強度変調放射線治療）療法の確立 c. 認定資格取得による技術力の向上 	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> a 新人を含め約半数の技師が循環器及び脳神経外科の検査に対応できるようになった。 b 放射線治療によるIMRTの治療法が行えるようになった。 c 第1種放射線取扱主任者資格を取得した。 	自己評価
				A

主な実績	項目				H23年度実績	H24年度実績	H25年度目標	H25年度実績	推進状況		
	C	T	件数	(件)	16,994	17,245	17,500	17,626	A		
	M	R	I	件数	(件)	4,615	4,794	5,100	5,292	A	
	R	I	件数	(件)	347	402	430	603	A		
	マ	ン	モ	件数	(件)	708	763	800	1,044	A	
	ア	ン	ギ	オ	件数	(件)	258	229	270	398	A
	骨	塩	定	量	件数	(件)	558	795	900	1,100	A
	一	般	撮	影	件数	(件)	24,924	23,973	25,000	25,666	A

3 経営資源の強化

(4) 医療技術部門の取組（エ リハビリテーション業務）

主な取組目標	<ul style="list-style-type: none"> a. 脳血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）の算定条件を維持 b. 心臓大血管リハビリテーション（Ⅰ）の施設基準の取得 c. 1日1人取得目標単位数は「20単位」 d. リハビリ3連休の解消 e. 心臓リハビリテーション指導士等の資格取得 	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> a. 脳血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）の算定条件を維持している。 b. 心臓大血管リハビリテーション料（Ⅰ）の施設基準を取得できていない。 c. 1日1人取得単位数は、平均16.7単位となった。 d. リハビリ3連休の解消は継続している。 e. 心臓リハビリテーション指導士等の資格取得は出来ていない。 	自己評価
				B

主な実績	項目		H23年度実績	H24年度実績	H25年度目標	H25年度実績	推進状況
	脳血管疾患リハ単位数	(単位)	26,369	25,842	31,000	24,512	C
廃用症候群リハ単位数	(単位)	7,398	8,192	9,830	13,373	A	
運動器リハ単位数	(単位)	15,389	12,482	14,978	15,563	A	
呼吸器リハ単位数	(単位)	114	87	100	132	A	
摂食療法リハ単位数	(単位)	51	81	100	21	C	
がん患者リハ単位数	(単位)	—	348	400	131	C	

4 職員の確保と意欲向上

(2) 看護師確保

主な取組目標	<ul style="list-style-type: none"> a. 院内保育所の有効活用 b. 看護学生へのワークショップの継続 c. 修学資金制度の継続実施 d. スキルアップのための研究、研修会への参加支援 e. 確保・離職防止のための改善の検討強化 f. 看護学校へ講師派遣と実習生受入れの充実 g. 看護学生アルバイトのインターシップ化 h. 募集パンフレットの継続作成 	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> a. 院内保育所を活用して、産休中の看護師の早期復帰や育児短時間勤務で看護師を確保できた。 b. 継続して看護学生へのワークショップを開催した。 c. 15名の学生に修学資金を実施した。 d. 継続して研修会、研究会への参加支援を行った。 e. 各部署間の応援体制を継続した。 f. 看護実習生や高校生の受入れを推進するとともに、看護学校の講師派遣を充実した。 g. 平成25年度も継続してインターシップを受け入れた。 h. 募集パンフレットを作成した。 	自己評価			
	B						
主な実績	項 目		H23年度 実績	H24年度 実績	H25年度 目標	H25年度 実績	推進 状況
	奨学資金貸与者数	(人)	15	13	15	15	A
	年度末正規看護職員数	(人)	231	244	256	253	B

4 職員の確保と意欲向上

(3) 職員の意欲の向上				
主な 取組 目標	<ul style="list-style-type: none"> a. 職員満足度アンケートの実施(年2回) b. モチベーションアップチームの活動継続 c. 参加しやすい院内研修 d. 院外研修への参加支援 e. 病院フェスタの継続実施 	取組 状況	<ul style="list-style-type: none"> a. 年2回(6,12月)実施 b. 職員満足度アンケートの実施、その他の活動内容の検討を継続 c. 西野直樹院長(姫路北病院)による講演会(病院フェスタ時)の開催 d. 医療技術スタッフや看護師など、各種研修会への参加を支援 e. 第5回病院フェスタ(7/13)の開催 	自己 評価
				A

5 再編・ネットワーク化

取 組 状 況	・相互医師派遣		自己 評価	
		西脇病院から派遣	西脇病院へ派遣	B
	多可町内診療所	内科(H23.2～)	—	
	多可赤十字病院	皮膚科(H23.1～) 血液浄化(H24.5～)	—	
	加東市民病院	皮膚科(H23.4～) 内科内視鏡(H26.4～)	血管外科(H21.4～)	
	県立柏原病院	放射線科(H20～) 精神科(H25.6～)	放射線科(H24.2～)	
・地域医療連携システム「北はりま絆ネット」が本格運用を開始				